

第2回 近畿本部建設部会『金井塾』のご案内

近畿本部建設部会主催行事、第2回『金井塾』を下記のとおり開催いたします。『金井塾』では、施工事例を用いて設計・施工の問題点を洗い出し、さらなる改善点について受講者の皆様と議論する新企画「グループディスカッション・ケーススタディ方式」の講演会です。（講演概要参照）
技術者の皆様、ご参加をお待ちいたしております。

※まだ技術士会に入会していない方や一般の方も参加することができます。

- 主 催 : 公益社団法人日本技術士会 近畿本部 建設部会
後 援 : 公益社団法人土木学会 関西支部 [土木学会 CPD プログラム認定 3.0 単位]
特別協賛 : 株式会社久本組, 第一設計監理株式会社
日 時 : 平成 28 年 10 月 15 日 (土) 13:00~17:00 (16:00~17:00 懇親会)
場 所 : 日刊工業新聞社ビル (大阪市中央区北浜東 2-16) 10 階
募集定員 : 60 名 (会員 40 名, 非会員 20 名)
講 師 : 金井 誠氏 (株式会社大林組 顧問)
参加費 : 2,000 円 (会員 1,000 円), 懇親会費別途 2,000 円
申込期限 : 平成 28 年 10 月 7 日 (金) ※定員になり次第締め切ります。

第2回 近畿本部建設部会『金井塾』 参加申込書

平成 28 年 月 日

【懇 親 会】 : 参 加 ・ 不 参 加

【建設部会員】

氏 名	
所 属	
E-mail	

【建設部会員以外の方】

氏 名	
所 属	
連絡先 TEL	
E-mail	
<input type="checkbox"/> 技 術 士 (部門: 建設 / 会 員 ・ 非 会 員) <input type="checkbox"/> 技 術 士 補 (部門: / 会 員 ・ 非 会 員) <input type="checkbox"/> 修 習 技 術 者 <input type="checkbox"/> そ の 他	

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部建設部会幹事長 河野千代

E-mail : kouno@hisamotogumi.co.jp

FAX : 06-6692-0478 TEL: 080-2483-7646

公益社団法人日本技術士会

第2回 近畿本部建設部会『金井塾』

～ 技術者が建設産業を取り巻く環境激変に適応して持続可能であるために！ ～

講師 金井 誠 氏

株式会社大林組 顧問
工学博士・技術士



【略 歴】

1973年 大阪大学大学院修了 株式会社大林組入社

1976年 スタンフォード大学大学院留学

(Infrastructural Engineering Management)

入社後3年間を大阪でシールド&開削トンネル工事に従事。米国留学後、土木技術部で4年間現場支援と技術開発、その後5年間を大阪でシールドトンネル工事に従事。1988年より4年間、東京湾横断道路(株)に出向し設計業務担当。以後、東京湾横断道路木更津南トンネル工区、首都圏外郭放水路第1トンネル工区の所長。2001年より東京土木事業部工事部長、2003年より副事業部長、2005年より役員。

2007年 常務取締役 土木本部長

2009年 専務取締役

2011年 代表取締役 副社長執行役員

2015年 特別顧問

2016年より顧問、現在に至る

【講演概要】

建設産業を取り巻く環境は10年以内に大きく変わる。担い手は10年以内で30～40%減少と予想され、生産年齢人口急減が産業間で担い手争奪を加速する中で、建設産業が担い手を確保できる可能性は小さい。一方で、インフラ整備は新設から維持修繕に軸足を移すものの、持続可能な国造りでは約16兆円(対GDP比3～4%)の投資額は欠かせない。この需給の不均衡を解消できる唯一の策は、計画～調査設計～施工計画段階で手段を目的にすり替えず『何故この方法？何故そう考えた？他に方法は？』と問い続けることで達成される“生産性向上”である。

更に、業界再編という大きなうねりの中で産業内の技術者流動性は高まり、組織に頼ることなく“考える”、或いは“考えることができる”技術者の重要性が認識される日は近い。

本講演では、どのような環境下でも持続可能な技術者であるために不可欠な“折れない心を持ち継続的に意識変革できる”技術者を育成するため、計画～調査設計～施工計画～施工の各段階における失敗事例を質疑応答形式で深く議論することで、生産性向上に資する思考能力の向上を図る。